

平成28年度特定認定再生医療等委員会（第3回）議事要旨

日 時：平成28年8月19日（金）10:00～11:00

開催場所：1号館西9階 特別第1会議室

出席者：森尾委員長、森田副委員長、稲澤、佐藤、赤松、春日井、関矢、飛田、樋口、丸山、掛江、吉田、富田、山口、本間、永山各委員、平家技術専門委員

欠席者：岡野、畠各委員

審議事項（1） 森尾、関矢各委員（申請者のため）

審議事項（2） 関矢委員（申請者のため）

申請者：再生医療等提供計画（受付番号：RM28-001）

『HLA 半合致以上の血縁ドナーから作成した複数ウイルスに対する抗原特異的 T 細胞を用いた造血細胞移植後の治療抵抗性ウイルス感染症に対する細胞療法』

（東京医科歯科大学）森尾教授（実施責任者）、関矢教授

再生医療等提供計画 定期報告（受付番号：RM27-002）

『逸脱を伴う半月板損傷の滑膜幹細胞による治癒促進』

（東京医科歯科大学）関矢教授（実施責任者）、片野助教

陪席者：（研究・産学連携推進機構事務局）上村補佐、山田係長、高橋係員

（再生医療研究センター）片野助教

（生命倫理研究センター）江花講師

配付資料

資料1-1 再生医療等提供計画（受付番号：RM28-001）

資料1-2 事前質疑事項及び回答

資料1-3 審査チェックリスト

資料2-1 RM27-002 定期報告資料

資料2-2 事前質疑事項及び回答

参考資料 RM27-002 提供計画提出時資料

資料3-1 平成28年度第2回特定認定再生医療等委員会議事要旨

資料3-2 再生医療等を治療として行う際の妥当性の考え方について

資料3-3 がん免疫細胞療法と免疫チェックポイント阻害薬との併用について

議 事

（審議事項）

（1）再生医療等提供計画（受付番号：RM28-001）の審議について

申請者の東京医科歯科大学の森尾教授から、資料1-1に基づき、前回の本委員会以降において RM28-001 の再生医療等提供計画にかかる変更内容とその経緯について概要説明が行われた後、平家技術専門委員から、当該提供計画による医

療技術の提供については客観的に妥当性があると評価する旨の説明があった。

引き続き、森尾委員長から議長を引継いだ森田副委員長の進行により、資料1-2~3に基づき質疑応答が行われた後、審議の結果、当該提供計画については「適正と認める」と意見をすることが承認された。

(2) 再生医療等提供計画（受付番号：RM27-002）定期報告について

実施責任者である東京医科歯科大学の関矢教授から、資料2-1及び参考資料に基づき、当該再生医療等提供計画における定期報告について説明があり、質疑応答が行われた後、審議の結果、当該提供計画は適正に実施されたものと判定し、「適正と認める」ものとして、意見なしとすることが承認された。

なお、当該提供計画については、病院長の変更に伴う軽微な変更があった旨の報告があった。

(報告事項)

(1) 平成28年度第2回特定認定再生医療等委員会議事要旨について

山田係長から、本年6月6日付で赤松委員、6月9日付で飛田委員が本委員会の委員に就任した旨の報告があった。

(2) 厚生労働省からの通知について

山田係長から、資料3-2~3に基づき、厚生労働省から再生医療等を治療として行う際の妥当性の考え方及びがん免疫細胞療法と免疫チェックポイント阻害薬との併用について、通知があった旨の報告があった。

(3) 次回開催日程及び今後の審査予定案件について

山田係長から、今後の審査予定案件について報告があった後、次回の本委員会の開催については、後日、事務局から日程調整の連絡を行う旨の説明があった。